

記者資料提供（2025年1月29日）

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）大泉・三好

TEL | 078-325-2235 FAX | 078-325-2230 E-mail | info@kiito.jp



# KIITO: デザイン・ユニット、エディション・ノルトによる展覧会 「ファクトリー KIITO」開催

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおり展覧会を開催いたします。ご取材および情報掲載のご協力のほど、どうぞ宜しくお願いいたします。

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）では、グラフィック・デザイナーの秋山伸と堤あやこが中心となり、プロジェクトごとに様々なデザイナーやアーティストと協働しながら本や展覧会をつくる出版レーベル／デザイン・ユニット、エディション・ノルトによる展覧会を開催します。

エディション・ノルトは、2008年に東京・新宿のデザイン事務所 schtütcco 内の出版レーベルとして始動しました。2010年に秋山の故郷である新潟の南魚沼に移住し、全国各地からの協力者との共同生活をしながら、ネット通販でパーツを調達し、YouTubeでリサーチした加工法を用いてオフィス用複合機で印刷を行うなど、手作業の本づくりの実験を継続して行ってきました。これまでに、川俣正、大竹伸朗、平山昌尚などのアート・ブックを手掛け、国内外の展覧会やアート・ブックフェアで高い評価を得ています。近年では、デザインすることから、地域のコミュニティーやアーティストを本づくりへと媒介させることへ活動が移行し、秋山が教鞭をとる神戸芸術工科大学の学生や関西圏の協力者たちと「共同でつくること」の実験を行っています。

本展では、「共同でつくる」ことの実践の場、生み出す（生産する）場として、会場をファクトリー（工場）に見立て、会期中に変化し続ける展覧会を試みます。これまでのデザイン作や、edition.nord が企画して収集したアート・ブックのアーカイヴを展示するほか、公募によって集まった参加者とともにアート・ブック制作の様子をご覧いただけます。会場は会期中、秋山自身の手によって空間が何度も組み換えられる予定です。

展覧会タイトルの「Factory KIITO（ファクトリー・キート）」は、施設名の愛称「KIITO」に「I」を足して、音の連続で継続する生産を想起させるようにしたものです。日々変わり続ける「Factory KIITO」にぜひお越しください。



タイトル：エディション・ノルト「ファクトリー KIITO」

会期：2025年3月15日（土）～5月6日（火・祝）

時間：11:00～19:00 ※月曜休館

会場：デザイン・クリエイティブセンター神戸 1F  
クリエイティブスタジオ

入場：無料

アーティスト：エディション・ノルト

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸

図版上段：「エディション・ノルト | ファクトリー dddd: 被包撰、絡合、派生物」フェーズ 1 京都 ddd ギャラリー / 京都 / 2023 Photo: Kyotoshi Takashima

図版下段：OLTA+OPENCIRCUIT 「Transmission Pang Pang Document Book」OLTA / 2019 Photo: Yuka Imoto

お問合せ | デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当 住所 | 兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4

開館時間 | 9:00～21:00 休館日 | 月曜（祝日または振替休日の場合はその翌日） WEB | <https://kiito.jp/>

## エディション・ノルト

グラフィック・デザイナーの秋山伸と堤あやこが中心となり、プロジェクトごとに様々なデザイナーやアーティストと協働しながら本や展覧会をつくる出版レーベル／デザイン・ユニット。

新宿のデザイン事務所 schtütco の出版プロジェクトとして2008年に始動、2010年末に秋山の故郷、新潟県南魚沼市に移住。2021年に神戸に移住。新潟時代の10年に、森栄喜、川俣正、大竹伸朗、平山昌尚、河井美咲、鈴木理策、辺口芳典、などのアート・ブックを出版する。海外への展覧会（オーストリア）やアート・ブックフェア（ジュネーブ、ニューヨーク、ベルリン、シンガポール、上海、ミラノなど）、ワークショップやレクチャー（北京、上海、チューリヒなど）に招聘される。2015年にはカフェCIANで、2018年には川俣正+edition.nord名義の「アート・フラグメント・コレクション」で、2019年にはキュレーションを手掛けた「エディション・ノルトと仲間たち | アート・ブックのとても大きな部屋：読む・つくる・考える」で大地の芸術祭にも参加する。神戸に移ってからは、町田康+寺門孝之「東山道エンジェル紀行」（左右社）、シアスター・ゲイツ「民芸の経済」（大林財団）、松本美枝子「具（つぶさ）に見る」（ACAC）など、秋山が教鞭をとる神戸芸術工科大学ビジュアルデザイン学科の学生と数千部のオーダーの本を手作りでアSEMBルするプロジェクトを継続している。近年の展示に、「Kawamata Publication Timeline」「Japan Focus Library and Archive」（越後妻有 大地の芸術祭 2022）、「ファクトリー-dddd：被包摂、絡合、派生物」（京都dddギャラリー／2023）、「Shimizu Project」（越後妻有 大地の芸術祭 2024）がある。



図版左上下：CONTEMPORARY (ART BOOK) review / archive #000 CIRCLE／東京／2018 Photo: Go Itami

図版右上下：お引越とお葬式：life and death of schtütco PANTALOON／大阪／2010 Photo: Kiyotoshi Takashima